

M-EMS認証制度

認証組織

一般社団法人 M-EMS 認証機構 (2009年4月 法人化)
※2004年9月みえ環境県民運動協議会内にM-EMS 認証事業部として発足

認証の有効期間

1年間
確認審査を毎年受けることで、更新していくことができます。

認証登録の証明・公表

M-EMS登録証を発行いたします。
また、登録リストに掲載されるとともに、「三重の環境」(三重県のHP)、「(社)M-EMS認証機構」のホームページに公表いたします。

審査員(コンサルタント)

M-EMS認証機構が認めたM-EMS審査員(コンサルタント)が、訪問し、審査及びコンサルティングを行います。ただし、審査の公平性を保つため、審査とコンサルティングは、別の審査員がそれぞれ担当します。
M-EMS審査員は、社団法人 産業環境管理協会 環境マネジメントシステム審査員評価登録センターに登録されたISO14001審査員補以上の有資格者で、M-EMS認証機構が定める経験等の基準に適合している資格者が務めます。

審査方法

初年度：書類審査及び実地審査
2年目以降：確認審査(書類審査及び実地審査並びに1年間の実績評価)年1回

M-EMS認証取得をご検討の皆さま

M-EMS認証取得をご検討の方は、M-EMS構築講座の受講をお申し込み下さい。
お申し込みの際は、下記の一般社団法人 M-EMS 認証機構までご連絡下さい。

M-EMS構築講座

M-EMS構築講座は、M-EMS規格、構築の手引き、サンプル文書を配布し、M-EMS規格の内容及びM-EMS構築に必要な環境マネジメントの手順並びに、事業活動に伴う環境問題及び企業活動に係る環境関連法規制の概説、認証制度全般を含む内容です。
講座形式は1日講座で、定期的(毎月1回程)に開催しています。
日程、受講費用の詳細については構築講座のご案内をご参照下さい。

M-EMS認証取得にかかる費用

標準料金は、以下の通りです(従業員20名、1サイト(審査箇所)の場合)

| 区分 | 初年度費用 | | | 2年目以降 |
|--------|------------------------|----------------------------|----------------|-------------------|
| | コンサルティング費用 | 審査費用 | 計 | 確認審査 |
| ステップ 1 | 標準回数3回 37,800円(3回分) | 書類/実地審査一式 58,800円/審査一式 | 一式 96,600円 | 確認審査一式 31,500円 |
| ステップ 2 | 標準回数4回 67,200円(4回分) | 書類/実地審査一式 206,850円/審査一式 | 一式 274,050円 | 確認審査一式 94,500円 |

M-EMS認証についてのご相談は

一般社団法人 M-EMS 認証機構までご相談ください。各企業・組織の取組状況や業種・業態・規模等に応じて、審査ならびにコンサルティングの日程を助言・提案します。また、ご要望に応じてお見積りをいたします。

— お問い合わせ・お申込みは —

■ 一般社団法人 M-EMS 認証機構

URL:<http://www.m-ems.org/> E-mail:info@m-ems.org
〒514-0005 津市鳥居町251番地の5
TEL:059-221-1605 FAX:059-221-1606

■ 三重県環境生活部地球温暖化対策課

URL:<http://www.eco.pref.mie.lg.jp/m-ems/>
〒514-8570 津市広明町13(三重県庁8階)
TEL:059-224-2368 FAX:059-229-1016



M-EMS

左のM-EMS認証マークは、三重県が商標登録をしています。



資源保護のため古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。

みえ・環境マネジメントシステム・スタンダード

Mie · Environmental Management system Standard

ミームス M-EMS

環境経営ツール「M-EMS」を活用して高める企業価値!



M-EMS

一般社団法人M-EMS認証機構

三重県

ホームページ <http://www.eco.pref.mie.lg.jp/m-ems/>
<http://www.m-ems.org/>

M-EMSで、無理なく確実な成果をあげる環境経営!

“M-EMS (ミームス)”は、みえ・環境マネジメントシステム・スタンダード (Mie - Environmental Management system Standard) の愛称です。
 「環境マネジメントシステム」は、企業などのすべての事業経営の中で、環境への負荷を管理し、継続的に低減をするための仕組みです。
 M-EMSは、環境マネジメントシステムの認証制度です。

M-EMSの特色

費用が少なく、わかりやすい規格であり、KES規格と同一の規格です。

1 従業員数や業種により環境活動の取組みは多様であるため、要求事項の少ない「ステップ1」、本格的なEMSの「ステップ2」と2つの規格を設定しています。

ステップ1 環境問題に取り組み始めた段階を想定したもので、ここでは、自分たちの組織にはどのような環境負荷があるかを把握し、最高責任者(経営層)が従業員に向け環境宣言を行います。そして、環境目標を持ち改善計画を立てて、実行し、最高責任者が評価します。

ステップ2 国際規格ISO14001と同じ趣旨の要求項目を設けており、ISO14001認証取得が必要になった場合でも移行を目指しやすいステップです。

2 認証取得にかかる費用が安い

コンサルティング費用と審査費用を合わせても、低コストでマネジメント構築から認証取得までが可能です。
 ステップ1 コンサルティング+審査費用 約10万円 ※ 標準的な料金例 (100名以下、1サイト)
 ステップ2 コンサルティング+審査費用 約28万円 ※ 標準的な料金例 (100名以下、1サイト)
 (※ 費用詳細は、裏面をご覧ください。)

3 わかりやすく、取り組みやすい

★手引きとサンプル文書の提供：取組み手順などを説明した「構築の手引き」や「サンプルマニュアル」を提供し、構築講座やコンサルティングで解説します。
 ★コンサルティング：M-EMSでは環境改善やマネジメントの知識と経験を有したM-EMS審査員がコンサルティングを行います。皆様の事業現場には、一般社団法人 M-EMS認証機構からM-EMS審査員が派遣されますので、安心してコンサルティングが受けられます。審査は、コンサルティングを担当した審査員とは別のM-EMS審査員が審査いたします。

KES (KES・環境マネジメントシステム・スタンダード) 認証も同時に取得できます。

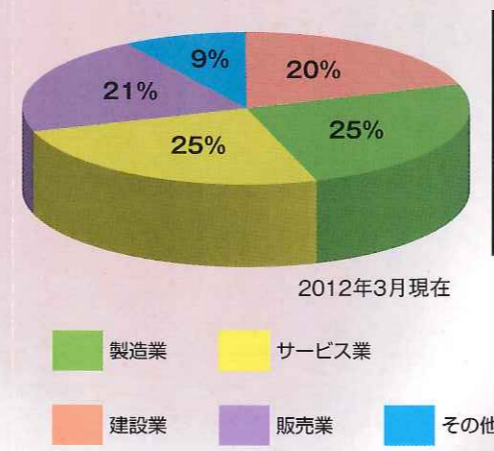
KES (KES・環境マネジメントシステム・スタンダード) 認証のNPO法人KES機構と相互認証をしています。M-EMS認証登録することで、KES認証も同時に取得となります。

こんな効果が“M-EMS”の活用で期待できます!!

- ◎省エネルギー・省資源・リサイクルなどにより、コストダウンができます。
- ◎環境に配慮した企業として認証され、取引(グリーン調達)等にも有利になります。
- ◎企業の社会的責任(CSR)の証明となります。
- ◎環境管理体系(PCDAサイクル:下図PCDAサイクルを参考)が経営管理にも応用できます。
- ◎環境規制の法規制順守(コンプライアンス)に対応できます。
- ◎従業員の環境意識の向上に活用できます。
- ◎「自社の環境方針・宣言(環境理念)」を広く公開することにより地域社会への理解と、円滑なコミュニケーションを形成できます。



これまで多様な業種でM-EMSが取得されています



M-EMS(ステップ2)の取組手順と取組内容

